

高齢者におけるイメグリミン塩酸塩錠の有効性、安全性に関する研究

2022年7月から2025年6月までに、当院糖尿病内分泌内科にて、新規でツイミーグ[®]錠（イメグリミン塩酸塩錠）を処方された患者さん

研究協力をお願い

当部では「高齢者におけるイメグリミン塩酸塩錠の有効性、安全性に関する研究」という研究を行います。この研究は、2022年7月から2025年6月までに東京労災病院糖尿病・内分泌内科にて、新規でツイミーグ[®]錠（イメグリミン塩酸塩錠）を処方された患者さんの、HbA1cの変化、BMIの変化、副作用の出現状況を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：高齢者におけるイメグリミン塩酸塩錠の有効性、安全性に関する研究
研究期間：2026年3月1日～2026年12月31日
研究責任者：東京労災病院 薬剤部 小松 浩大

（2）研究の意義、目的について

昨年より、ツイミーグ[®]錠は腎機能が低下した患者さんにも使用できるようになりました。そのため、今後は生理機能が低下した高齢の患者さんへの処方が増えると思われます。しかし、高齢の患者さんと若年の患者さんと、薬の効果や副作用を比較した報告は少ないのが現状です。そこで、ツイミーグ[®]錠の効果や副作用の出現率が、若年の患者さんと高齢の患者さんと差があるか否かを明らかにすることを目的とし、本研究を行います。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2022年7月から2025年6月までに東京労災病院糖尿病・内分泌内科にて、新規でツイミーグ[®]錠を処方された患者さんのHbA1c、BMI、腹部症状の出現状況などをカルテにて確認し、高齢の患者さんと若年の患者さんと差があるか否か、比較検討します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、HbA1c、BMI、腹部症状（下痢、嘔吐、嘔気）、腎機能、併用している薬等

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

（6）問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 薬剤部 薬剤師 小松 浩大
〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21
電話番号：03-3742-7301（代表） 内線：3123
メールアドレス：trh-yakuzai@outlook.jp